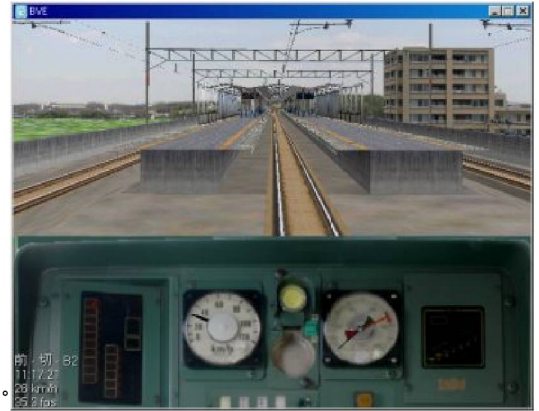




第91号

2011 / 9

具現化とは？



「アイデアや構想などを、実際の商品や製品やサービスなど具体的な形のあるものにするこ
と。」

ってなかなか難しい。

頭の中でイメージしても、感性や考え方は人それぞれだし、詳しくない人には全く想像できない。

ならば、バーチャルリアリティ画像で目に見えるものに具現化することで、多くの人にLRTや、街づくりの重要性を知ってもらえるのではないかと思います、LRT吉備線を運転シュミレーターで再現する。

でも、'する'とはいえ、そう簡単にできる訳がない。現在の路線データを集め、それに未来予測データをうまく馴染ませないといけないからだ。

それには膨大な作業時間、人出がいる。でもこれはあくまで趣味だ。趣味で巨大プロジェクトを動かし、街を変えることができればなんて凄いこと
だろう。

でもできることは、とりあえずやってみよう。成功しても失敗しても何もしないよりはマシだ。

人間は欲があるからこそ文明を進化させてきた。それならば、欲をうまくコントロールし、活用するほかない。

僕は岡山が生まれ故郷だ。

岡山が好きだ。

みんなにもっと岡山を好きになって欲しい。

だからこそ、じつとはしてられない。

日々の生活に埋もれて、盲目にはなりたくない。

停留所にあるべきもの、あってほしいもの

街なかに立っているバス停。バス停名が書かれた標識に、時刻表やお知らせを掲示するための掲示板があるものが一般
的だ。なかにはバスロケーションシステムの情報を表示したり、バスシェルターがバス停そのものだったりもするだろう。

RACDAでは『すべてのバス停に屋根とベンチを』を合言葉に、バス停アダプト運動を行っている。日差しが強い日や雨の
降っている日でも、バス待ち環境を良くしようとの思いからのものである。だがバス待ち環境が悪くなっても、バス停から得
られる情報が不十分では利用する人(特に普段は利用しない人)にとっては不安だろう。「こんなものがあると便利だな」と
思われるものを挙げてみた。

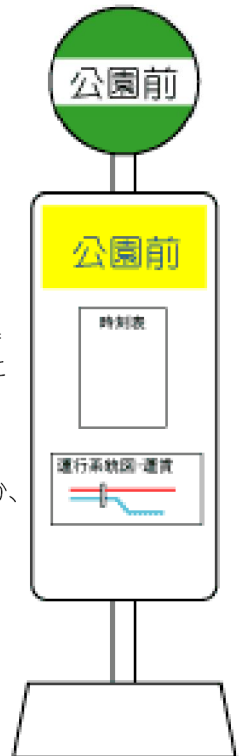
●運行系統図と運賃表

どこを通るのか分からなければ乗ることさえ出来ない。運行の実態のみを表した系統図とするか、地図の上に表示するか、
方法はいろいろ考えられる。乗るバスが分かればどこまで何円なのかも気になる。系統図といっしょに表示するのもひとつ
の手だろう。 接続するバスや鉄道、船などが書き込まれていても良いのではないだろうか。

●停留所周辺の地図

停留所から半径100mの範囲を表した地図があっても良いだろう。地理に不案内な人にとっては役に立つと思われる。

少なくとも全てのバス停に、運行系統図と運賃表は設置してもらいたい。(松田和也)



MOMO de ワイン電車

岡山駅前電停 18:30 発 約 2 時間
空席がある日は当日の乗車も可

18:30 岡山駅ー東山(トイレ休憩)ー岡山駅(トイレ休憩)ー清輝橋ー岡山駅 20:30

岡山市内をナイトクルーズ

お一人様

ドレスコード・フォーマル(ちょっとオシャレして)

料金 3000円 ワイン3杯

ビールもご用意しております

電車運賃込み

“軌内食”付

東山では買い出し、持込み可能、20名以上で貸切も可能

追加1杯500円

協賛 キリンビール

路面電車で食事ができるなんて、
あの岡山出身の作家・肉田百間もびっくり驚き
レストラン電車は世界でもクライストチャーチ(ニュージーランド)、
メルボルン(オーストラリア)などにしかありません

運行日・毎週金曜日

(10月14日より運行の予定)

ご予約 086-272-5520 FAX 086-272-1288

岡山電気軌道(株) 受付時間9:00-18:00(平日)

お電話で確認の上、念のためFAXでお申し込みください。

メール問合せ okj165@ac.auone-net.jp (RACDA)

MOMOにテーブルを設置し、本格的お食事も可能になっています。

最低催行人員 10名(なるべく前々日までにお申し込みください)